

【Problem list】

#1 副腎腫瘍

約 1 年半前の CT で左副腎の 2.5cm 大の境界明瞭・内部均一・低吸収の腫瘍を指摘された。最近の CT で、17 ヶ月前と同様な境界明瞭・内部均一の径 2.5 cm の腫瘍があり、大きさは不変。病変部の吸収値は 4 Hounsfield units で脂肪と思われ、副腎腺腫と考えられる。右副腎は正常。

#2 体重増加

昨年にかけて 7 kg の体重増加を認め、来院時 107 kg。

#3 身体所見

満月様顔貌、中心性肥満、水牛様脂肪沈着が認められるが、皮下うっ血、皮膚線条、多毛、近位筋の筋萎縮はなく、甲状腺腫大や他の臓器の腫大も見られない。

#4 検査所見

#4-1 Dexamethasone 抑制試験

迅速 dexamethasone 抑制試験 (overnight 法, 1mg) で翌朝 cortisol 2.2 µg/dl と抑制された。

#4-2 尿中ホルモン値

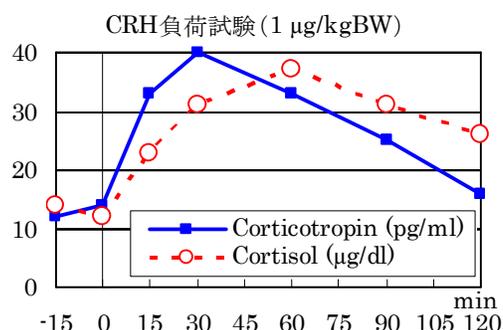
尿中遊離 cortisol は 20,110,96,73 µg/24hr (基準値 20~70 µg/24hr) と 4 回中 3 回基準値を上回ったが、尿中 epinephrine, norepinephrine, total catecholamines, metanephrine, normetanephrine, total metanephrines は正常

#4-3 血中ホルモン値

血中 renin 活性は 12.2 ng/ml/hr (基準値 0.7~10.0 ng/ml/hr) と上昇が見られるが、aldosterone, DHEA-S, corticotropin とも正常

#4-4 CRH 負荷試験

Corticotropin, cortisol とも約 3 倍の上昇反応が見られた。



#4-5 頭部造影 CT

部分的なトルコ鞍の空虚が見られる。下垂体腺腫の所見は認められない。

#5 高血圧

2 年前の受診時に 140/100 mmHg と高血圧を指摘され、doxazosin (4 mg) と lisinopril (10 mg) を投与された。昨年にかけて降圧薬の増量にもかかわらず高血圧が持続し、来院時は 150/90 mmHg。現在は ACE 阻害薬の lisinopril (20 mg)、α 遮断薬の doxazosin (8 mg)、Ca 拮抗薬の nifedipine (60 mg) を服用中。

#6 関節リウマチ

2 年前に、数ヶ月続く朝のこわばりと多関節痛で発症。抗リウマチ薬の hydroxychloroquine (40 mg 分 2) でコントロールされている。

#7 反復性尿路感染症

2 年前に排尿障害で発症し、尿培養から E.coli が検出されたため、amoxicillin (AMPC) を処方された。数コースの抗生物質投与にもかかわらず、排尿障害、膿尿、尿培養陽性が持続した。

#8 結腸膀胱瘻

約 1 年半前の CT で結腸膀胱瘻を指摘され、低位前方直腸切除術と結腸膀胱瘻の切除・閉鎖術を施行された。

#9 生活歴

未婚、性交経験なし、47 歳で閉経、喫煙: 3 箱×40 年 (15 歳~55 歳)、飲酒: 週 1 回